財務諸表作成

【重要性：C】

ＰＯＩＮＴ！

製造業における財務諸表を理解しよう！

（1）製造業会計の財務諸表

製造業会計では、損益計算書、貸借対照表に加えて、損益計算書の内訳明細として「**製造原価報告書**（せいぞうげんかほうこくしょ）」を作成します。なお、製造原価報告書とは、製造活動の状況を明らかにする報告書です。

（2）製造業の貸借対照表

製造業会計では、棚卸資産として、「**製品**」「**材料**」「**仕掛品**」があります。

（3）製造業の損益計算書

商品販売業の損益計算書では、以下のように売上原価の内訳項目として「当期商品仕入高」があります。これに対して、製造業の損益計算書では、売上原価の内訳項目として「当期商品仕入高」に代わり「**当期製品製造原価**」が記載されます。この「当期製品製造原価」の内訳明細として作成されるのが製造原価報告書です。

商品販売業（商業簿記）

損益計算書		
Ⅰ．売上高		×××
Ⅱ．売上原価		
期首商品棚卸高	×××	
当期商品仕入高	×××	
合　計	×××	
期末商品棚卸高	×××	×××
売上総利益		×××
（以下、省略）		

製造業（工業簿記）

損益計算書		
Ⅰ．売上高		×××
Ⅱ．売上原価		
期首製品棚卸高	×××	
当期製品製造原価	×××	
合　計	×××	
期末製品棚卸高	×××	×××
売上総利益		×××
（以下、省略）		

（4）製造原価報告書の形式

製造原価報告書の形式には、①形態別分類による製造原価報告書と、②製品との関連における分類による製造原価報告書の２つの形式がありますが、ここでは、一般的な**形態別分類による製造原価報告書**を示します。また、製造原価報告書で算定された「当期製品製造原価」は、損益計算書の売上原価の内訳科目となる点に注意して下さい。

製造原価報告書

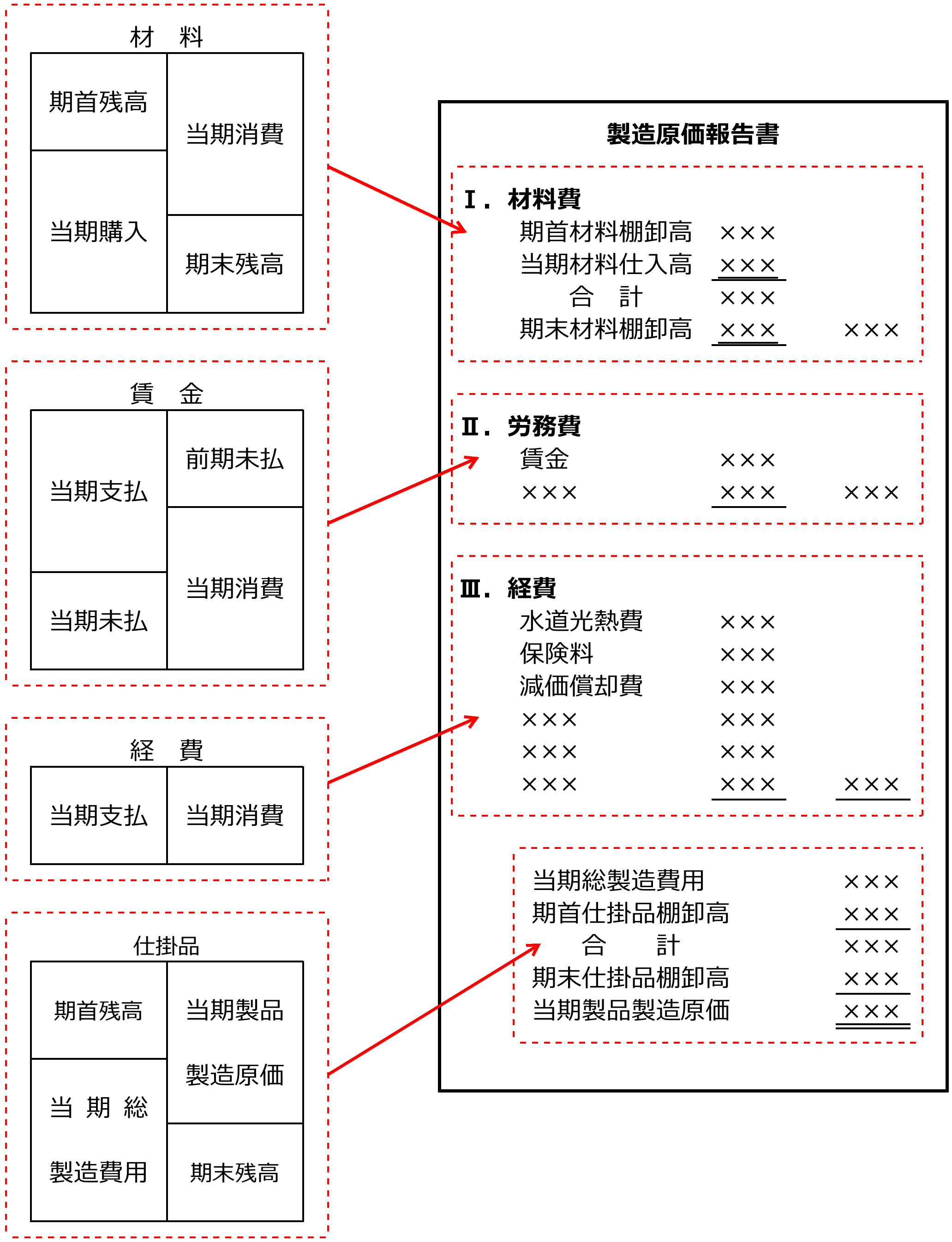
Ⅰ．材料費		
期首材料棚卸高	×××	
当期材料仕入高	×××	
合　計	×××	
期末材料棚卸高	×××	×××
Ⅱ．労務費		
賃金	×××	
×××	×××	×××
Ⅲ．経費		
×××	×××	
×××	×××	×××
当期総製造費用		×××
期首仕掛品棚卸高		×××
合　　計		×××
期末仕掛品棚卸高		×××
当期製品製造原価		**×××**

損益計算書

Ⅰ．売上高		×××
Ⅱ．売上原価		
期首製品棚卸高	×××	
当期製品製造原価	**×××**	
合　計	×××	
期末製品棚卸高	×××	×××
売上総利益		×××
（以下、省略）		

（5）各勘定と製造原価報告書の対応関係

各勘定と「形態別分類による製造原価報告書」との対応関係は以下のようになります。



例題　次の勘定記入にもとづいて、製造原価報告書を作成しなさい。

材　料

前期繰越	150	仕 掛 品	1,800
買 掛 金	2,000	次期繰越	350
	2,150		2,150

仕　掛　品

前期繰越	600	製　品	5,000
材　料	1,800	次期繰越	800
賃　金	2,000		
製造間接費	1,400		
	5,800		5,800

賃　金

諸　口	2,500	未払賃金	400	
未払賃金	350	仕 掛 品	2,000	（直接工賃金）
		製造間接費	450	（間接工賃金）
	2,850		2,850	

製造間接費

賃　金	450	仕 掛 品	1,400
水道光熱費	200		
保 険 料	300		
減価償却費	450		
	1,400		1,400

製造原価報告書

Ⅰ．材料費		
期首材料棚卸高	150	
当期材料仕入高	2,000	
合　計	2,150	
期末材料棚卸高	350	1,800
Ⅱ．労務費		
直接工賃金	2,000	
間接工賃金	450	2,450
Ⅲ．経費		
水道光熱費	200	
保険料	300	
減価償却費	450	950
当期総製造費用		5,200
期首仕掛品棚卸高		600
合　　計		5,800
期末仕掛品棚卸高		800
当期製品製造原価		5,000

（６）製品勘定と損益計算書の対応関係

「製品」勘定（資産）が、損益計算書の「売上原価」と対応しています。

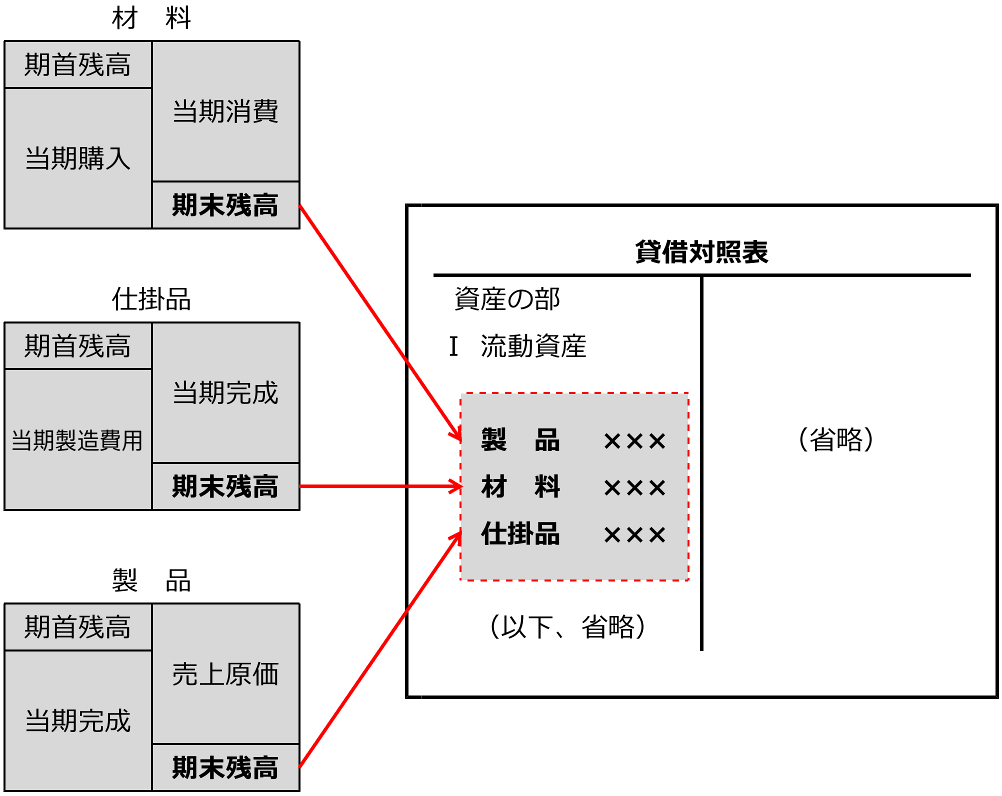
損益計算書

Ⅰ．売上高		×××
Ⅱ．売上原価		
１．期首製品棚卸高	×××	
２．当期製品製造原価	×××	
合　計	×××	
３．期末製品棚卸高	×××	
差　引	×××	
４．原価差異	×××	×××
売上総利益	×××	

（以下、省略）

（７）各勘定と貸借対照表の対応関係

「材料」勘定（資産）、「仕掛品」勘定（資産）、「製品」勘定（資産）の各期末残高が、貸借対照表の「材料」、「仕掛品」、「製品」の金額と一致します。



例題　次の勘定記入にもとづいて、損益計算書（売上総利益まで）及び貸借対照表（一部）を作成しなさい。

材　料

前期繰越	150	仕掛品	1,800
買掛金	2,000	次期繰越	350
	2,150		2,150

仕　掛　品

前期繰越	600	製品	5,000
材料	1,800	次期繰越	800
賃金	2,000		
製造間接費	1,400		
	5,800		5,800

賃　金

諸口	2,500	前期繰越	400
次期繰越	350	仕掛品	2,000
		製造間接費	450
	2,850		2,850

製　品

前期繰越	300	売上原価	5,100
仕掛品	5,000	次期繰越	200
	5,300		5,300

製造間接費

賃金	450	仕掛品	1,400
水道光熱費	200		
保険料	300		
減価償却費	450		
	1,400		1,400

売上原価

製品	5,100	損益	5,100
	5,100		5,100

損　益

売上原価	5,100	売上高	10,000

① 損益計算書（売上総利益まで）

損　益　計　算　書

Ⅰ 売　　上　　高		10,000
Ⅱ 売　上　原　価		
1．期首製品棚卸高	300	
2．当期製品製造原価	5,000	
合　　　計	5,300	
3．期末製品棚卸高	200	5,100
売　上　総　利　益		4,900

② 貸借対照表（一部）

貸　借　対　照　表

製　　　　品	200		
材　　　　料	350		
仕　　掛　　品	800		

製造業会計　問題

問題1　以下の資料にもとづいて、①当期製品製造原価、②売上原価、③売上総利益の金額を答えなさい。

［資料］

１．期首材料棚卸高20,000、当期材料仕入高220,000、期末材料棚卸高40,000

２．当期労務費120,000、当期経費80,000

３．期首仕掛品棚卸高60,000、期末仕掛品棚卸高50,000

４．期首製品棚卸高70,000、期末製品棚卸高90,000、売上高650,000

製造業会計　答案用紙

問題1

①

②

③

製造業会計　解答解説

問題1　**解答**

①　410,000
②　390,000
③　260,000

問題1　**解説**

①について
・当期材料費：期首20,000＋当期仕入220,000－期末材料40,000＝200,000
・当期総製造費用：材料費200,000＋労務費120,000＋経費80,000＝400,000
・当期製品製造原価：期首仕掛品60,000＋当期総製造費用400,000
－期末仕掛品50,000＝410,000

②について
・売上原価：期首製品70,000＋当期製品製造原価410,000
－期末製品90,000＝390,000

③について
・売上総利益：売上高650,000－売上原価390,000＝260,000